

Ⅲ 「当面の課題」と「長期的な視点に立った課題」の抽出 ～ 外部委員による「魅力ある高等学校づくり検討委員会」 ～

詳細

P 2 3 ～ P 3 0

現行再編計画の評価を踏まえ、当面の課題及び長期的な視点に立った課題への対応について検討するため、外部委員による「魅力ある高等学校づくり検討委員会」を設置（H21.10）し、検討委員会からは、平成22年3月に『報告書』が提出された。

1. 当面の課題

【対応状況】

1. 地域連携アクティブスクール

きめ細かい指導を行う「地域連携アクティブスクール」の設置は必要

平成24年度設置に向けて、平成23年度から準備を実施

2. コミュニティ・スクール

千葉県ならではのコミュニティ・スクールの在り方の検討が必要

これまでの研究を踏まえ、引き続き、設置に向けた研究を実施

3. 三部制定時制の充実

併置している全日制の在り方について検討が必要

平成24年度から、松戸南高校 全日制課程の募集を停止

4. 女子校の学区

県立の女子校を全県一区とすることは妥当

平成23年度入試から、女子校の 学区を全県一区



地域連携アクティブスクールを実践研究中の天羽高校サッカー部員による小学生への指導



学区が全県一区となった千葉女子高校の体育祭風景

【対応状況】

5. 通信制高校の充実

きめ細かい指導や、遠隔地に住む者への対応など、通信制高校の充実に向けた検討が必要

平成 23 年度から、通信制高校在籍生徒を対象に、通信制協力校でのスクーリングの開設

6. 総合学科の充実

総合学科の特長を、より丁寧に説明することが必要

総合学科の魅力を発信するため、効果的な広報を実施

7. 農業特別専攻科の見直し

農業特別専攻科を募集停止とすることはやむを得ない

平成 23 年度から、農業特別専攻科の募集を停止

8. 生徒減少の著しい郡部への対応

現状を正確に伝え、地元の意見を聴きながら、魅力ある高校づくりに向けた検討が必要

夷隅地域に地域協議会を設置し、協議を実施

2. 長期的な視点に立った課題への対応

「生徒の多様化」「多様な地域性」「自立した人材の育成」などの長期的な視点に立った課題については、相応しい検討組織を整え、新たな計画を策定する必要がある。



千葉大宮高校（通信制）のスクーリングの定時制への配信実験（館山総合高校にて）



活発な議論が交わされた夷隅地域の地域協議会

県立学校改革推進プラン策定懇談会の設置